

大分大学 理工学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

理工学部		専門的知識・技能の活用	コミュニケーション能力	創造的問題解決力	社会的責務と倫理	地域発展・人類福祉への貢献	生涯学習力	
ディプロマ・ポリシー	理工学部理工学科では、以下の素養を備え、所定の期間在籍して基準となる単位を修得した学生に対し、卒業を認定して学士（理工学）の学位を授与する。	文化、社会、自然などの幅広い教養を備え、さらに理工学分野における専攻領域の専門知識・技能と分野を俯瞰する視点を有し、これらを横断的・総合的に活用することができる。	日本語や外国語により、多様な人たちと、科学的な内容をふまえて、意思疎通をすることのできるコミュニケーション能力を備え、他者と協調してチームの一員として活動し、その成果を適切に文章やプレゼンテーションにより発信することができる。	幅轆した現代の課題に対し、総合的な視点から個人または他者と協働して課題解決に取り組み、理工学的観点から、解決方策の提案や解決への活動に貢献することができる。	理工学分野の技術者、研究者、教育者としての高い責任感と倫理観を備え、自らの良心と良識に従って行動することができる。	人類の福祉や地域社会のため、理学・工学の視点から課題解決に貢献することができる。	変化の激しい時代に対応し、技術者、研究者あるいは教育者として、課題解決に必要な知識を生涯にわたり主体的に学修することができる。	
カリキュラム・ポリシー	理工学部のディプロマ・ポリシーに対応し、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。	教育課程の編成と教育内容	「教養教育科目」により幅広い教養を育む。基盤教育科目により理工学の学生として必要な数学や物理・化学の基礎を育む。分野横断型の専門科目、展開サブプログラム科目により、理学と工学の知識を横断的に活用する力を養成する。プログラム専門科目により専攻分野の高い知識と技能を修得する。それらの知識を基に、課題解決型(PBL)科目や「卒業研究」により実践応用力を修得する。	「教養教育科目」及び「外国語科目」により、日本語や英語による文章表現力を育む。さらに少人数グループ単位で行う「理工学導入」、「基礎理工学PBL」、「応用理工学PBL」、「卒業研究」により、多様な人たちと意思疎通をすることのできるコミュニケーション能力と協調性、さらに社会で活躍するための力を養う。	「教養教育科目」により問題解決に必要な基礎を学ぶ。実験・実習系科目で協調学習に取り組む。「基礎理工学PBL」、「応用理工学PBL」においてグループワークにより課題の解決策を考え、発表する。また「卒業研究」では能動的に卒業論文のテーマに取り組む。これらにより個人または他者と協働で課題を解決する能力を養成する。	「教養教育科目」及び専門科目で倫理の内容を含む科目の履修を通じて、技術者としての社会的責務の理解と、倫理観を醸成する。	「教養教育科目」及び「外国語科目」により、多様な文化・価値観を理解する。「専門教育科目」により、イノベーションを基とした地域発展・人類福祉へ貢献する力を養成する。	
		教育方法	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の定着を図るため、講義と実験・実習・演習・PBLを連携させた教育を行う。 ・学生の主体的学びを推進するためアクティブ・ラーニングを導入し、課題探求・解決学習・実践的教育を行う。 ・理学と工学の素養を養うための科目を開講し教育を行う。 ・アクティブ・ラーニングでは、チームによるコミュニケーションを重視した教育を行う。 ・倫理の内容を含む科目を開講し、卒業研究で実践的教育を行う。 					
		学修成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学習成果の評価のもととなるアセスメント・チェックリストは、教育の改善や改革に対応して見直し、公表する。 ・ディプロマ・ポリシーとカリキュラムの対応、授業改善の取り組み、シラバスとカリキュラムの対応、成績評価方法の妥当性については、大分大学教育マネジメント機構により評価を受け、指摘に基づいた改善を行う。また、JABEE対応プログラムにおいては、日本技術者教育認定機構による外部評価を受審し、審査結果に基づいた改善を行う。 ・卒業論文・卒研発表会をもとに、各プログラムの専門分野に関する理解、整理・分析・解決能力、情報収集・分析能力、プレゼンテーション力、報告書作成力を評価する。 ・卒業時の「卒業予定者アンケート」より、カリキュラム満足度、学習達成度を調べ、教育課程の改善と改革を行う。 ・学修成果の評価は、アセスメント・チェックリストにより実施する。 					